

施策目標に関する中長期的な目標と成果指標(24年度実績評価用)

政策目標7 科学技術・学術政策の総合的な推進

施策目標(テーマ)	達成目標	主な成果指標(アウトカム)／活動指標(アウトプット)
1 科学技術関係人材の育成及び科学技術に関する国民意識の醸成 【担当課(関係課)】 科学技術・学術政策局 基盤政策課 (初等中等教育局教育課程課) 【施策の概要】 天然資源に乏しい我が国にとって、科学技術と人材こそが唯一の資源である。未来を創る若手研究者等の支援の強化を図るため、自立的な研究環境の整備、若手研究者等が能力を発揮できる環境整備を支援するとともに、理数分野において優れた素質を持つ児童生徒を発掘して、その能力を伸ばすための取組を推進する。また、科学技術の社会的信頼を得るために、広く国民を対象として、科学技術に触れ、体験・学習できる機会の拡充を図る。	1 次世代を担う科学技術関係人材の育成に向け、子どもが科学技術に親しみ学ぶことができる環境が充実するとともに、理数に興味関心の高い子どもの能力を伸ばすことができる効果的な環境が提供される。	【アウトカム】 ① 科学技術分野のコンテスト表彰件数のSSH指定前と比べた比率(%) (21年度実績:513%/目標:毎年度500%以上) ② SSH出身の理系学部専攻の卒業生が「SSH参加が現在の専攻分野選択に影響した」と回答した割合(%) (23年度実績:63.8%/目標:毎年度60%以上) ③ 理数分野に強い学習意欲を持つ学生の意欲・能力を更に伸ばす取組を行う大学の取組進捗状況(%) (23年度実績:100%/目標:毎年度90%以上) ④ サイエンス・インカレへに応募する学生数(人) (23年度実績:257人/目標:24年度・400人)
	2 若手研究者等の多様な人材の育成支援を図るため、若手研究者等が能力を最大限発揮できる環境が整備される。	【アウトカム】 ① 自然科学系における若手新規採用教員総数に占めるテニュアトラック教員の割合(%) (23年度実績:5.5%/目標:27年度・30%) ② 自然科学系における女性研究者の採用割合(%) (21年度実績:24.2%/目標:27年度・30%) ③ 大学等におけるリサーチ・アドミニストレーター組織整備状況 (23年度実績:5機関/目標:25年度・35機関)
	3 わかりやすく親しみやすい形で国民に科学技術を伝え、国民との対話を通じて説明責任と情報発信を強化する活動及び科学技術に関する基礎的な知識・能力の向上に資するため、国民が科学技術に触れる機会を増やす。	【アウトカム】 ① 科学技術週間標語の応募件数(件) (23年度実績:10,674件/目標:毎年度・前年度実績以上)

達成手段

達成手段 (事業・税制措置・国会議等)	23年度 当初予算 算額 (千円)	23年度 補正予算 算額 (千円)	24年度 当初予算 算額 (千円)	達成手段の概要	行政事業 レビュー シート 番号	関連する 指標	担当課
スーパーサイエンスハイスクール	1,455	-	4,632	将来の国際的な科学技術関係人材を育成するため、学習指導要領によらないカリキュラムの開発・実践や課題研究の推進、観察・実験等を通じた体験的・問題解決的な学習等など、先進的な理数系教育を実施する高等学校を「スーパーサイエンスハイスクール」として指定し、支援するため、スーパーサイエンスハイスクール企画評価会議や中間評価等を実施。	0139	1-①~ ②	科・基盤政策課 (初・教育課程課)
理科教育等設備整備費補助等	1,490,889	-	1,000,000	学校教育における理科教育等の振興を図るため、理科教育振興法に基づき、公・私立学校の小学校、中学校(中学校の前期課程を含む)、高等学校(中等教育学校の後期課程を含む)及び特別支援学校に理科設備(計量器・実験機械器具、野外観察調査用具等)や算数・数学設備(教材説明器具、実験実習器具、計算機等)を整備する場合、その経費の1/2(沖繩においては3/4)を学校の設置者に対し補助する。	0140	1-①~ ②	初・教育課程課
リサーチ・アドミニストレーターを育成・確保するシステムの整備	30,000 ※23年度において は施策目標9-2 の予算として計上	-	1,141,335	大学等において、研究資金の調達・管理、知財の管理・活用等を総合的にマネジメントできる研究開発に知見のある人材を育成・確保する全国的なシステムを整備するとともに、専門性の高い職種として定着を図る。	24年度 新規事業 0016	2-③	科・産業連携・地域支援課
科学技術分野の文部科学大臣表彰	25,085	-	25,085	科学技術分野の文部科学大臣表彰についての審査・選考を行い、表彰を行う。	0238	2	振・振興企画課
科学技術に関する人材の養成・活躍促進及び理解促進	12,641,537	-721,134	11,826,054	未来を創る若手研究者等の支援の強化を図るため、自立的な研究環境の整備、若手研究者等が能力を発揮できる環境整備を支援するとともに、理数分野において優れた素質を持つ児童生徒を発掘して、その能力を伸ばすための取組を推進する。また、科学技術の社会的信頼を得るために、広く国民を対象として、科学技術に触れ、体験・学習できる機会の拡充を図る。	0205	1-③~ ④ 2-①~ ② 3-①	科・基盤政策課

(参考) 関連する独立行政法人の事業

事業	23年度 当初予 算額 (千円)	23年度 補正予 算額 (千円)	24年度 予算案 (千円)	達成手段の概要	行政事業 レビュー シート 番号	関連する 指標	担当課
独立行政法人科学技術 振興機構運営費交付金 に必要な経費	8,425.6 96	—	8,409.1 69	子どもが科学技術に親しみ、学ぶことができる環境や科学技術に才能を有する子どもを見出し 伸ばすことができる環境を提供するため、スーパーサイエンスハイスクール支援事業など理数 教育の充実を図るとともに、科学技術コミュニケーションフィールドの運営等により、大人まで皆 が科学技術に触れ、体験・学習できる機会を充実する。	0232	科学技術 関係人材 の育成及 び科学技 術に関す る国民意 識の醸成	科・基盤 政策課 (初・教育 課程課)
独立行政法人科学技術 振興機構施設整備に必 要な経費	141,999	—	111,851	JSTに対して、以下の取組を実施するための施設・設備の整備充実に係る経費を補助する。 ・自治体・大学・産業界からの提案を踏まえ、地域の強みを活かした産学官共同研究の実施や 地域企業への成果の普及、中堅・ 中小企業の技術高度化の支援、高度技術者の養成等に取り組むための研究設備・装置を整 備する。 ・JST本部、外国人研究者宿舎・日本科学未来館の施設・設備について老朽化等により性能を 維持できなくなったものの改修等 を行う。	0233	科学技術 関係人材 の育成及 び科学技 術に関す る国民意 識の醸成	科・基盤 政策課
独立行政法人日本学術 振興会運営費交付金に 必要な経費	18,004, 217	—	18,055, 697	優秀な若手研究者が、主体的に研究に専念できるよう研究奨励金を給付する。	0259	科学技術 関係人材 の育成及 び科学技 術に関す る国民意 識の醸成	科・基盤 政策課 (振・振興 企画課)

〈修正のポイント〉
特になし